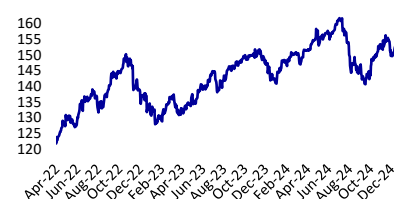


市場動向

■USD/TWD



■USD/JPY



■JPY/TWD



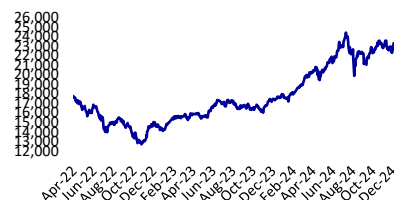
■EUR/USD



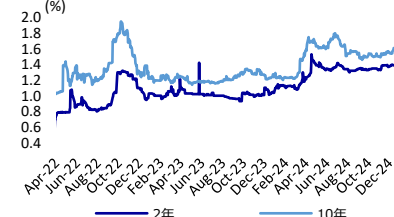
■USD/CNH



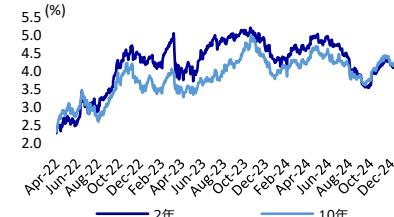
■台湾加権指数



■台湾国債利回り



■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

先週のドル/台湾ドルは上昇。週初12/9は32.435でオープン後、グローバルにドル高が進行する中、外資による送金フローが見られ、ドル/台湾ドルは32.500近辺まで上昇。その後、輸出企業によるドル売りが入り、最終的に32.470でクローズ。12/10は、米11月CPIの発表を控え、動意に欠ける展開が続く、最終的に32.440でクローズ。12/11は、グローバルにドル買いが見られたことや、人民元の急落を受けて、台湾ドルも連れ安となり、一時32.524まで上昇。その後、上値を抑える動きが見られ、最終的に32.510でクローズ。12/12、ドル高が進行する中、外資によるドル買いが見られ、ドル/台湾ドルは一時32.540まで上昇。午後に入ると、人民元が上昇に転じた他、輸出企業によるドル売りが入り、最終的に32.488でクローズ。12/13は、午前を通して外資による資金流出が見られたものの、午後は投資信託や輸出企業によるフローが入り、ドル/台湾ドルは32.50近辺でレンジ推移。最終的には前週比0.31%ドル高台湾ドル安の32.508で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は262.1億台湾ドル。

■USD/JPY

先週のドル/円は上昇。週初12/9は150.08でオープン後、日銀金融政策決定会合の利上げ観測が後退する中、米金利の上昇に伴うドル買いが加速し、最終的に151.23でクローズ。12/10は、序盤は前日からの円売り地合いを引き継ぐ展開。海外時間に入ると、米金利の上昇に伴うドル買いが加速し、最終的に151.98でクローズ。12/11は、注目された米11月CPIは市場予想と一致する結果となったことで、米金利が上昇に転じる中、ドル買いが優勢な展開となり、一時152.84まで上昇。その後やや値を戻し、最終的に152.46でクローズ。12/12は、米11月PPIは予想を上回り、同時に発表された米新規失業保険申請件数が予想対比悪化したものの、米金利の上昇が意識され、最終的には前日比0.1%ドル高円安の152.65でクローズ。12/13は、一部で報道された「日銀が今月の金融政策決定会合で利上げの見送りを検討」とのヘッドラインや、米金利の上昇を受け底堅く推移し、一時153.80まで上昇。最終的には前週比2.47%ドル高円安の153.75で先週の取引を終了。

今週の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：32.300-32.700

今週のドル/台湾ドルは底値の堅い推移を見込む。重要な12月FOMCを控える中、利下げ期待は高まったものの、利下げ幅が限定的。米金利が引き続き上昇する場合、ドル/台湾ドルは底堅く推移と想定。

■USD/JPY 予想レンジ：152.00-155.50

今週のドル/円は底値の堅い推移を見込む。年内最後のFOMC、日銀金融政策決定会合を控える中、日米金融政策を巡るスタンスの強弱がドル買い・円売り後押しとなるだろう。

今週の予定

12/16 (MON)	米12月サービス業、製造業PMI
12/17 (TUE)	米11月小売売上高
12/18 (WED)	米11月住宅着工件数、日11月貿易収支
12/19 (THU)	日銀金融政策決定会合、FOMC、CBC金融政策決定会合、米12月フィデリアス連銀製造業景気指数
12/20 (FRI)	米11月PCE

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。